

平成26年度復興支援の担い手の運営力強化実践事業(一般枠) 一覧

No.	事業名	メニュー	応募者		事業概要	配分額 (単位:千円)
			主なNPO法人等	協働する市町村 (県)等		
1	県北地区復興支援NPOなんでも相談会	②中間支援団体支援事業	特定非営利活動法人シニアパワーいわて	県北広域振興局、二戸地域振興センター	復興活動支援枠で実施している「NPOなんでも相談会」は沿岸広域振興局管内での実施であったため、今回県北広域振興局管内の久慈、二戸地域の復興活動を行っているNPO法人を対象に経理や運営に係る相談会を開催するもの。	560
2	若者サポートステーション基盤強化事業	①市町村等との協働事業 ③企業連携事業	特定非営利活動法人いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊	一関市	平成25年7月に厚労省認定事業「若者サポートステーション事業」を受託し、いちのせきサポートステーションを開設。事業周知と利用者拡大、若者就労支援の強化を図るため、マイクロソフト社提供の「ITを活用した若者就労支援プロジェクト」及び「被災地事業所就労体験」を実施し、地域連携共同によりサポステの基盤強化を図る。	800
3	奥中山高原 雪まつり2015	①市町村等との協働事業	一戸町農村青年クラブ連絡協議会	一戸町	野菜の一大産地である奥中山高原一帯は、気候が厳しい冬期間は主要なイベントがなく、暗く寒いイメージであることから、冬季の魅力向上等のため次のイベントを実施する。 (1) かまくらで地元産製品のおもてなし (2) 特設ステージでコンサート (3) 花火打ち上げ	500
4	こころの復興支援を担う次世代リーダー育成プログラムの導入	③企業連携事業	特定非営利活動法人心の架け橋いわて	東北みらい創りサマースクール実行委員会	被災地住民のメンタルヘルスクエアが大きな課題となっているが、支援者の人的資源不足が問題となっていることから、県内大学や地元メディア、民間企業等と協働で、県内大学生等を対象としたメンタルヘルス研修会や意識調査を実施する。	640
5	「北限のゆず」による復興の街づくりプロジェクト	①市町村等との協働事業 ③企業連携事業	北限のゆず研究会	陸前高田市、沿岸広域振興局、県農業研究センター	これまで利用されてこなかった自生の「ゆず」の商品化に取り組んだことに端を発し、その価値を地域住民が共感し、ふるさとの誇り、地元の宝として実感できるよう「北限のゆずの街づくり」に向けた組織体制の強化と地域住民への意識啓発・普及活動を展開する。先進地視察、収穫イベント、まちづくりセミナー、パンフレット作成	800
6	東日本大震災で被災した子供たちへの心の支援活動	①市町村等との協働事業	ブック・エンド・ドリーム・プロジェクト	大槌町	東日本大震災の被災地における小・中学校の児童生徒の心の支援を行うため、大槌町と盛岡市を会場に子供達のデッサン指導、1枚のキャンバス共同制作、講演会等を開催するとともに、作品ノートの頒布による図書購入支援活動の拡充を図る。	800
7	自閉症美術館による障害理解啓発事業	①市町村等との協働事業	特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ	一関市	平成24年9月に自閉症美術館を開設以来、年6回企画展を開催し、たくさんの方に来館いただき、絵画を通して障がいをもつ方々の世界や障がいに対する理解を深めていただいた。今後も障がい者理解の交流拠点として、また、障がい児者をもつ家族の拠り所として運営を継続していくため、企画展の開催など集客を図るもの。	800
8	花と緑による環境整備及び担い手育成と情報発信事業	①市町村等との協働事業	特定非営利活動法人Green Fields	盛岡市	花と緑あふれる美しい豊かな街として復興するために、被災地の花壇整備などの作業を実施、住民がコミュニティを再生し、癒しの場として集う公共ガーデンづくりに取り組む。また、次世代を担う子供達が植物を通じて命の大切さと環境の大切さを学ぶ場とする。来年度以降はいわて国体に向け、おもてなしの花として美しい岩手の観光に寄与する。	800
合 計						5,700